

水系1液アクリルシリコン単層弾性塗材

DIA

# ダイヤ ハイパーシリコンR

ひび割れを強固にガードし、  
強靱な塗膜が長期にわたり建物を維持します。

## 高耐久性

耐久性にすぐれたアクリルシリコン樹脂の採用で、長期間にわたり壁面を保護します。

## 防水性

温度依存性の少ないアクリルシリコン樹脂の採用で、低温時の伸びにすぐれた塗膜が防水性を発揮します。

## 耐汚染性

親水性のあるシリケートポリマーの採用により、雨水による自浄作用ですぐれた低汚染性を発揮します。

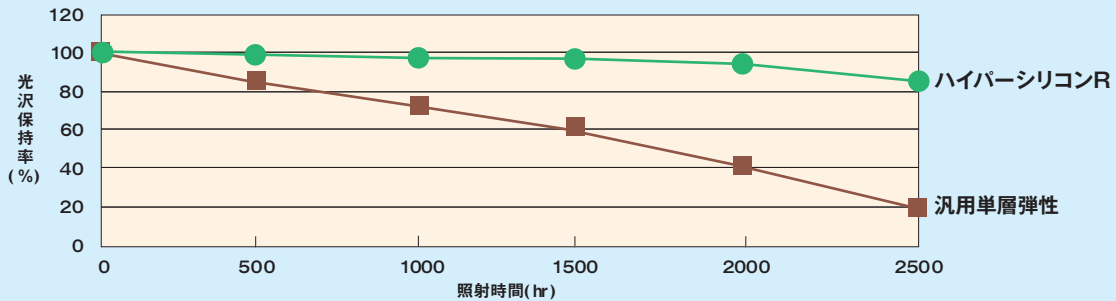
## 透湿性

透湿性に富む塗膜が室内の湿気を外に逃がし、塗膜のふくれや凍害、結露の発生を防止します。

## 防カビ・ 防藻性

微生物汚染の抑制効果の高い塗膜が、清潔感あふれる壁面を永く維持します。

◎促進耐候性試験(キセノンウエザオメーター)における光沢保持率の変化



# ダイヤハイパーシリコンR

## 標準仕様

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間(※1)	施工用具	
下地調整	◎コンクリート、モルタルは充分乾燥させてください(含水率 10%、pH10以下)。 ◎レイタンス、エフロ、油脂類、ホコリ等を除去し、豆板欠け、不陸、目違いはポリマーセメント補修材で平滑に補修してください。 ◎吸込み差がある場合には、下地調整材セメンジャス#2000を前面に塗布し、吸込みを均一にしてください。						
1 下塗り	ダイヤワイドシーラー ※2	15kg	0.1~0.2kg/㎡ 75~150㎡/缶	1	2時間以上	刷毛、中毛ローラー エアレス	
さざ波模様	2	ダイヤハイパーシリコンR 清水	16kg 0~0.5リットル	0.8~1.0kg/㎡ 16~20㎡/缶	1	5時間以上	多孔質ローラー
	3	ダイヤハイパーシリコンR 清水	16kg 1.0~1.3リットル	0.2~0.3kg/㎡ 53~80㎡/缶	1	—	中毛ローラー

※1 間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。

※2 下地の吸込みが著しい場合には2回塗りしてください。また、改装仕様の場合は、ダイヤアクリルシーラー、ダイヤガンシーラーを状況に応じて使い分けてください。 ※3 凸部処理仕様の場合のみ適用してください。

## 改修工法(施工例)

下地調整	各改装工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行ってください。						
1 下地処理	ダイヤアクリルシーラー 清水	1.0~1.3リットル	0.3~0.5kg/㎡	1	5時間以上	中毛ローラー	
		0.5~0.8リットル	0.8~1.0kg/㎡	1	16時間以上	多孔質ローラー	
さざ波模様	2	ダイヤハイパーシリコンR 清水	16kg 0~0.5リットル	0.8~1.0kg/㎡ 16~20㎡/缶	1	5時間以上	多孔質ローラー
		3	ダイヤハイパーシリコンR 清水	16kg 1.0~1.3リットル	0.2~0.3kg/㎡ 53~80㎡/缶	1	—

## 適用下地

コンクリート(PC、RC)、セメントモルタル、石綿スレート、フレキシブルボード、サイディングボード、軽量気泡コンクリート(ALC)\*、コンクリートブロック\*、各種塗り替え下地(リシン、タイル、スタッコ、弾性塗膜等)\*\*  
(\*印=ダイヤアクリルシーラー等による下地調整(目つぶし)が必要です。\*\*)印=旧塗膜の状況により下塗材の種類が変わります。)

## 施工・管理上の注意点

### 【塗装面の調整(新設)】

- ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタンス等を完全に除去して下さい。
- ②セメント質下地は、表面の含水率10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要。
- ③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
- ④PC/ナレ、現場打ちコンクリートの場合  
1)豆板、スコン、破損箇所、不陸などは、セメンジャス#2000、セメンジャス#2500等の下地調整材を使用し、補修して平滑して下さい。  
2)表面が緻密でレイタンス層がある場合は、レイタンスを除去し、ダイヤガンシーラー又は、ダイヤシーラーエポを使用して下さい。
- ⑤ALCパネルの場合  
ダイヤカチオンフィラーを塗布して下さい。

### 【塗装面の調整(新設・改修共通)】

- ①屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
- ②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。

### 【塗装面の調整(改修)】

- ①各現場の改装工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行なって下さい。
- ②脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
- ③チーキングは、サンダーワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
- ④既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には、高圧水洗浄後にダイヤガンシーラーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。

### 【材料の保管・管理】

- ①開缶した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

### 【施工】

- ①気温5℃以下、降雪、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雪、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
- ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛ばさないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ります。
- ④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑤下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の原因となります。
- ⑥施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げてください。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- ⑦施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- ⑧本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
- ⑨希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合は少なめに希釈して下さい。
- ⑩常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑪安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑫一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑬塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑭フッ素や無機系などの難接着塗膜処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されない場合がありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。
- ⑮可使用時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ⑯使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。

### 【安全衛生上の注意】

- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ②取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④作業中・作業後は十分換気を行ってください。
- ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

### 【その他】

- ①その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
- ②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点は仕様書等をご確認下さい。
- ③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。